

FPまつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

雨が多い季節になりましたがいかがお過ごしですか？

夏至（今年6月21日）の前後には各地でキャンドルナイトイベントが開催されます。キャンドルナイトとは、2001年にカナダで始まった運動ですが、2003年から日本でもスタートしました。

長雨で少しうっとうしい季節ですが、電気を消してゆったりとした気持ちで、立ち止まって考える機会にするのも良いかもせれませんね。

環境省ライトダウンキャンペーンHPより抜粋



今月号の話題

資産運用ガイド

株式と債券の特徴を理解するの2回目です。
先月と異なるグラフで特徴を理解しましょう。

ちょっと気になるお金のコラム

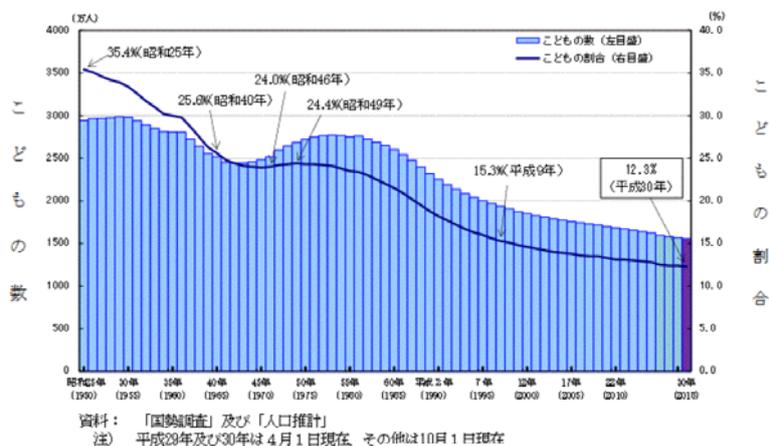
梅雨の時期、傘の忘れ物が気になりますが、忘れ物・落とし物で多いものは以外にも・・・

最近のニュースから

先月のこどもの日に合わせて総務省は、H30年4月1日時点での子どもの人数推計を公表しました。

前年に比べ17万人少ない1553万人で、昭和57年から37年連続の減少となり、過去最低。また、総人口に占めるこどもの割合も12.3%（前年比0.1ポイント低下）で過去最低となりました。こどもの割合は、昭和50年から44年連続して低下しました。

図3 こどもの数及び割合の推移



総務省ホームページより抜粋

ところで、44年前から総人口に占める子どもの割合が減少しているのですが、当時は「人口増加」が問題になっていたことはご存知ですか？

1974年に「第一回 日本人口会議」が開かれ、狭い日本にこれ以上人口が増えるのは、資源、食料、環境の観点から問題がある。人口増加の勢いを阻止するために子供は2人まで、などが議論されていました。

「子どもは2人まで」、などという議論がわずか40年ほど前に行われていたとはかなりの驚きですね。



FP松本相談センター
CFP・社会保険労務士
媚山裕之
〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250 090-8741-7358
info@fp-matsumoto.com
<http://fp-matsumoto.com>

2000年からFP業務を行っています。現在は確定拠出年金の導入及び加入者の方のライフプラン相談、保険相談、資産形成支援業務を中心に活動しています。年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。特に生命保険は、ちょっと見直すだけで保険料は勿論保障内容も大きく変わります。是非ご相談ください。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

月前半は、米中貿易摩擦をめぐる懸念の緩和、米国金利上昇による円安進行などから堅調な値動きでしたが、月後半は、イタリア政局の混乱から低調になりました。

日経平均株価：22467→21454 NYダウ：24163→24415 為替（ドル／円）：109.33→108.81

積立投資の推移



2017年3月から開始した積立投資は右の図表のようになりました。

日々のニュースではマーケットの変動について大きく報じられることもあり、不安を感じるかもしれません。

確定拠出年金のように長期の積立投資では、大きな下落があった場合でも、

- 回復するまで時間をかけることができる
- 値下がりした時も積立を継続する

N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2018年3月末	130,000	132,981	131,999	130,699
2018年4月末	140,000	145,632	143,541	140,976
2018年5月末	150,000	155,079	153,075	150,929

ので、元本確保型の商品を選択している場合は、元本保証がない投資信託を選択することを検討しましょう。

商品の選び方などを確認したい場合は、ご連絡ください。

株式と債券の値動きを確認する

下図は、182か月間（2002年12月末～2018年2月末）の、国内外の株式、債券の値動きを示したものです（2002年12月時点で国内で販売されていたインデックス型の投資信託のリターンデータを基に作図）。



先月号でもご覧いただいたグラフなので憶えている方もいると思います。

株式は値動きが大きいですが、時間をかけて大きく値上がりしています。一方債券は株式に比べると値動きは小さく、その分値上りも小さくなっています。

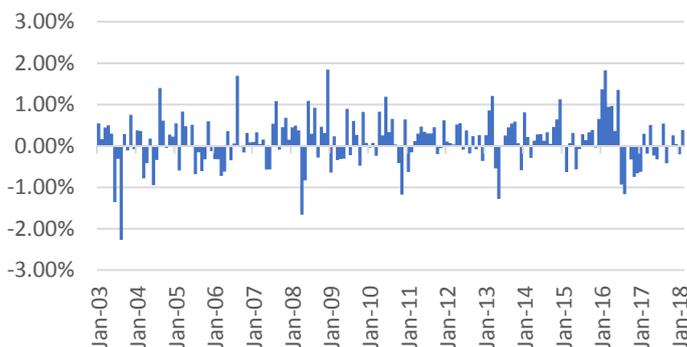
今月は、このような株式、債券の値動きの特徴を別のグラフで確認してみたいと思います。これがわかると多少の値動きに動揺せずに、長期継続保有ができるようになります。

（次ページへ続く）

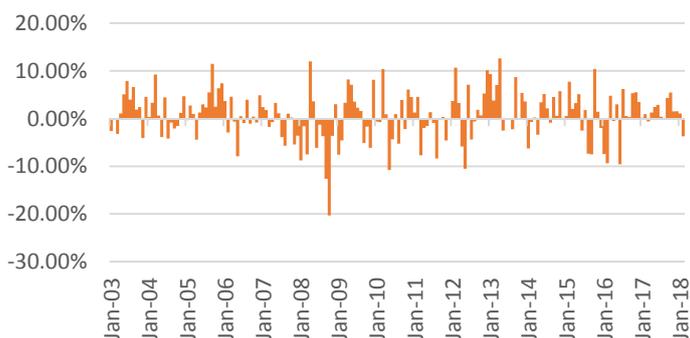
確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

前頁のグラフ（国内債券と国内株式）を別の形であらわしたのが下のグラフです。グラフが上に伸びている月はプラスの月、下に伸びている月はマイナスの月です。

国内債券



国内株式



グラフを見てどんなことに気が付くでしょうか？

1. 大きいプラスの月、大きいマイナスの月、それなりの月がある
2. 株式は債券に比べて値動きが大きい（軸の単位が違うので少しわかりにくいですが）。

よりクリアにするために数字で見てみましょう。

毎月のリターン（プラスもマイナスも）の平均

国内債券：0.12%

国内株式：0.67%

182か月のリターンの合計

国内債券：21.83%

国内株式：121.61%

プラスの月の数

国内債券：112回

国内株式：108回

マイナスの月の数

国内債券：70回

国内株式：74回

最大のプラス

国内債券：1.84%（2008年12月）

国内株式：12.60%（2013年4月）

最大のマイナス

国内債券：-2.27%（2003年10月）

国内株式：-20.31%（2008年10月）

標準偏差

国内債券：0.6%

国内株式：5.02%

月単位で見るとプラスの月もあればマイナスの月もあります。10か月のうち4か月はマイナスですね。

しかしながらマイナスの月をいれても平均するとプラスになります。平均がプラスですから合計もプラスになります。

株式はすごく良い月は1か月で10%以上値上がりしますが、悪い月は20%も下落しました。さらに下落が続くこともありました（2007年から2009年初までは、下向きの棒が多いですね）。

一方債券はプラスもマイナスも株式に比べると小さい値動きです。

このように見ると株式と債券の特徴がよくわかりますね。この特徴をしっかりと理解すれば、

- 投資（積立）期間が短い場合、取崩しの時期が近い場合、は債券の割合を多くすることが大切であること
- 短期的な値動きは「あるものだ」ということを受け入れて継続保有することで成果を得ることが期待できること

がわかるのではないのでしょうか。

来月は外国債券・外国株式について見てみましょう。

ちょっと気になるお金のコラム

3,748,892,862円

37億円という大きな金額ですが、何の金額だと思いますか？

東京都で1年間に届けられた現金の落とし物の金額です（警視庁が3月に公表したH29年度遺失物取扱状況による）。

http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/about_mpd/jokyo_tokei/kakushu/kaikei.html

落とし物ベスト5は、

1. 証明書類
2. 有価証券類
3. 衣類・履物類
4. 現金類
5. かさ類

落とし物と言え、ば、「かさ」を思い浮かべる人も多いと思いますが、証明書、有価証券（プリペイドカードなど）、現金などが入った財布を落とす（忘れる）人がこんなにも多いとは少し驚きです。

日本全国でみると、H26年の現金の落とし物は、164億円でした（警察白書 H27年）。

日本中で毎日約5000万円、東京だけでみると毎日約1000万円が落ちていることになります。

上記は拾われて届けられた金額ですが、「落とした」と申し出られた金額は、

全国 368億円
東京 83億円

申出金額が正しいとすると半額以下しか落とし物として届けられていないことになります。



過去の高額な落とし物は？

過去の高額の現金の落とし物としては、

- ・ 1980年 銀座で1億円
- ・ 1989年 川崎の竹やぶで2億円

が有名です。

落とし物は3ヶ月（当時は6ヶ月）を過ぎても持ち主が現れない場合は拾った人のものになります。

銀座の1億円は所定の期間を過ぎても持ち主は現れず1億円すべてが拾った人のものになりました。

一方、川崎の竹やぶの2億円は札束の帯封から所有者が判明、拾った人に1割のお礼が払われたそうです。

拾って得たお金に税金はかかる？

拾って得たお金にも税金がかかります。国税庁HPに一時所得について以下の記載があります。

1. 懸賞や福引きの賞金品(業務に関して受けるものを除きます。)
2. 競馬や競輪の払戻金
3. 生命保険の一時金(業務に関して受けるものを除きます。)や損害保険の満期返戻金等
4. 法人から贈与された金品(業務に関して受けるもの、継続的に受けるものは除きます。)
5. **遺失物拾得者**や埋蔵物発見者の受ける報労金等

税金の種類は、生命保険の解約金などと同じ一時所得になります。

ちなみに、銀座で1億円を拾った人の税金は当時の税率で計算すると約3400万円程度になります。

前述の東京都では、37億円のうち5億円が東京都などに、27億円が落とした人の元へ、約5億円が拾った人のものになったようです。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎていないか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に☑、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

(ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



FAX:050-3730-0380

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内